

ご支援に心から感謝し、 新たな成長の年に

選挙が続いた2017年。おかげさまで2期目の議員生活が始まって、半年が過ぎました。

都議団副幹事長としてスタートした2期目は、国民健康保険や保育、高齢者福祉、障害者福祉などで都議団の中心的役割を担うこととなり、まさに力が問われます。

まだまだ力不足を実感する毎日ではありますが、皆さんの声や願いを都政に届け、2期目も「くらし、福祉を都政の真ん中に」と、ぶれずに邁進してまいります。

2018年は、「丈夫で長持ち」の身上と、休日の確保、仕事のスピードアップを目指し、着実に力をつける年にしたいです。引き続き、ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

日本共産党都議会議員

和泉なおみ



新井杉生党地区委員長、葛飾区議団のみなさんと一緒に



葛飾区日本共産党後援会

新春のつどい

1月21日(日) 日帰りバス旅行

参加費 大人 7,500円 子ども 5,000円

(中学生以上は大人料金)

高蔵寺・坂東三十三観音 (初詣)

鴨川グランドホテル (昼食・ご入浴)

海産物店 (お買い物)

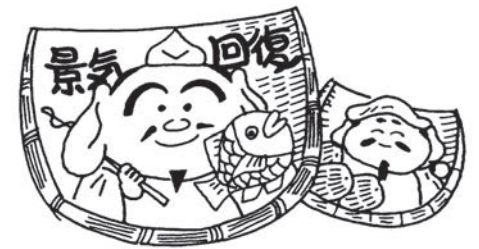


毎年恒例の後援会の催しです。皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

私も一緒にします

ぜひ、ご参加ください。

○お申し込みは、お近くの党員、後援会役員、区議会議員まで



日本共産党都議会議員

**和泉なおみの
さわやかレポート**

NO.34
2018.1

発行：和泉なおみ事務所 TEL5671-0850
葛飾区東立石 3-25-8 FAX 5671-0851

日本共産党都議会議員・和泉なおみの
生活・年金・法律相談

1月10日(水) 午後2時より

於・和泉なおみ事務所

事前にお電話ください



毎月第二水曜日に、東部法律事務所の方士さんのご協力をいただきまして、「生活・年金・法律相談会」を開催いたします。

総選挙後、初の都議会定例会

小池都知事の姿勢を糾弾!

第4回定例会は、12月1日から12月15日まで行われました。

総選挙後初の定例会として注目されました。和泉都議は、都議団副幹事長とし

て、本会議質問や一般質問の政策メンバーの中心として奮闘し、また委員会質疑では、国保問題をはじめ福祉分野で積極的な役割を担いました。



委員会で追及する和泉都議

総選挙で自民党を救済したことへの自覚も反省もなし

小池百合子氏は、当初は「反自民」を言い、市場の豊洲移転問題をはじめ歴代都政を批判し、都民優先の都政を掲げて、圧倒的な人気をえてきました。しかし、衆議院選挙になると一転して、戦争法容認で民主党に踏み絵をふませるなど、野党共闘を分断し、自民党の勝利に手を貸しました。

豊洲入札、ゼネコンにすり寄る

豊洲新市場は4大ゼネコン（清水・鹿島・大成・大林）が追加工事を受注しました。小池知事が自ら改革した入札制度を元に戻し、石原知事以来のやり方と変わらなくしたからです。落札率（予定価格対落札価格の比率）は平均99・8%。工事価格は1・4倍に跳ね上がりました。

国保料の値上げをするな!

来年度からの都道府県化で、保険料の大幅な値上がり懸念されています。1人当たり、1・3倍になることが予想されています。また都は、自らが区市町村とともに

最後まで入札不調だった1件も特命随意契約に切り替え、不透明で割高なものを都民に押し付けるものとなりました。「無害化」もしない、移転に市場業者の皆さんの合意もない、築地に戻る保証もない、「都民が決める、都民が進める」との公約はどこへ行ったのでしょうか。

国保の責任主体になります。和泉なおみ都議は、子どもの保険料や低所得者の負担を軽くするために都が財政支援をせよと訴え、高すぎる保険料を引き下げるために奮闘しました。

「都政大改革」の公約はどくらい?

議会改革では、常任委員会のインターネット中継、公用車利用の縮小、政務活動費での飲食禁止、議会棟の全面禁煙などの改革が進み始めました。しかし、議員の期末報酬（ボーナスのこと）で、都民ファーストから驚くべき発言が。

議員の期末報酬は、都の職員の賞与支給率に連動します。そのため、職員の賞与が上がったことで、議院の期末報酬も自動的に上がるという提案がされました。

日本共産党都議団は、職員と連動する仕組みに合理的な根拠はない。4月に議員報酬を下げたばかりなの

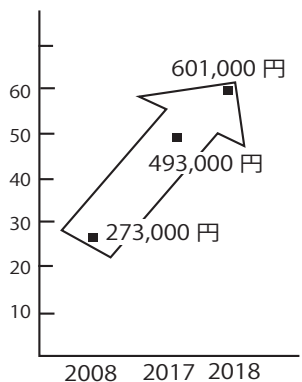
和泉なおみ

に、都民の厳しい生活実態を顧みずに報酬を引き上げるとは、議会改革への姿勢と初心が問われると、かがやけTokyo、生活者ネットワーク、日本維新の会東京都議会とともに、議員期末報酬の据置き条例案を共同提案しました。

しかし、都民ファーストは「職員と連動するのはルールであり、踏襲するべき」と、自民党、公明党とともに反対しました。「えーっ！おかしなルールは変えてこそ改革なんじゃないの？」思わず、ヤジッてしまいました。都民ファーストの会の底が知れた一幕でした。

国保料金 10年で2倍に

年収500万円、夫婦、子ども2人



躍進した力で前進も

そのような中でも、いくつもの重要な前進がありました。

これまで限定されていた住宅耐震化助成はすべての区市町村に対象が拡充されます。

子ども食堂への持続的な支援や、所有地の借地料減額の継続、医療的ケアが必要な障害児の通学保障、精神障害者の医療費助成などに、前向きな答弁がありました。